

国際会計人材の育成の取組み

2020年11月6日

公益財団法人財務会計基準機構

国際会計人材ネットワーク(1)

- 当財団は、IFRSに関して国際的な場で意見発信できる人材及びIFRSに基づく会計監査の実務を担える人材等の育成を目的として、国際会計人材ネットワークを2017年4月に組成している。
- 現在のネットワーク登録者は、以下のとおりである。前回の報告以降、総登録者数は、1,000名を超えている。

	企業の役員 ・従業員	公認会計士 ・監査法人 勤務者	証券アナ リスト	基準設定主 体の委員・ 研究員	官庁の 行政官	学識 経験者	合計
2017/4 (組成当初)	55名	642名	17名	28名	11名	0名	753名
2020/9	114名	1,048名	29名	31名	27名	1名	1,250名

- 国際会計人材ネットワークでは、登録者全員を対象としたシンポジウムと特定のテーマによる少人数を対象とした定例会を行っている。
- 2020年3月に、「財務諸表の利用者からみた企業結合会計」と題したシンポジウムの開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響で延期している。現在、Webでのシンポジウムの開催の検討を行っている。
- 前回のご報告（2019年9月3日）以後、2019年9月25日に第5回定例会「会計基準を巡る国際的な情勢及び国際的な会計基準」を開催している（講師：鶯地隆継IASB理事、油布志行 金融庁企画市場局審議官、井上隆 経団連常務理事、小賀坂敦 企業会計基準委員会委員長、川西安喜 同副委員長（肩書は実施時）

会計人材開発支援プログラム(1)

- 当財団は、IASB等の組織の活動に直接参加し議論できる人材を育成することなどを目的として、2012年より会計人材開発支援プログラムを開始し、これまで以下のとおり、実施している。

- 第1期～第5期（2012年1月～2020年7月）

作成者40名、利用者21名、監査人39名 計100名

- プログラムの受講修了者については、以下の役職につかれているほか、多くの方が各セクターで会計基準設定に関連する活動に参加されている。

- IFRS諮問会議(IFRS-AC)メンバー 2名 (うち1名は副議長)
- IFRS解釈指針委員会(IFRS-IC)委員 1名
- IASB資本市場諮問審議会(CMAC)委員 1名
- IASBのスタッフ (在ロンドン) 4名
- ASBJの委員 5名
- ASBJ専門委員会の専門委員 17名
- ASBJの専門研究員 14名

(1名が複数の役職に就くものも含む。)

- 第5期は本年7月に終了し、以下のプログラムを実施した。
 - 企業会計基準委員会委員長及び副委員長による講義 8回
 - 外部講師による講義（肩書は実施時） 3回
 - Nili Shah IASB Executive Technical Director
 - 井上俊剛金融庁企画市場局企業開示課長
 - 鈴木理加IASB理事
 - 概念フレームワークの講義 8回
 - 英語によるディスカッション・トレーニング 2回

- 現在、第6期の開講に向けた準備を進めている。

